びびんこ賞

本人じゃなくてもモテモテ

◇…由布市の高齢者サロンで講師を務めるかやしま天峡こと萱嶋仁侠さん(77)＝別府市竹の内＝は手品や健康講話で参加者を楽しませている。スーパーボランティア、尾畠春夫さん（日出町）の許可を得て3年ほど前から赤い鉢巻きに柿色のシャツ姿でステージに立つことも。

◇…そんなある日、イベント会場で尾畠さんだと勘違いした客からサインをせがまれた。想定外の出来事に動揺しながら本人ではないことを説明。「それでも欲しい」と押し切られ、芸能人ぽく文字を崩して自分の名前を書き、その場を乗り切ったという。

◇…以来、連くからでも分かるようお手製の「本人公認そっくりさん」のうちわを持って活動している。ニセモノだとは重々、承知しているが人生最大のモテ期が到来中。次はスマートにサインに応じられるようひそかに練習に励んでいる。

（池田美香）

2021年4月28日付

4月は別府市の萱嶋さん

傑作ネタを表彰する4月のびびんこ賞は、28日付掲載の「本人じゃなくてもモテモテ」に決まりました。別府市竹の内の萱嶋仁侠さん(78)＝**顔写真**＝のエピソードです。

萱嶋さんはスーパーボランティアの尾畠春夫さん公認のそっくりさん。分かっていてもサインをねだられる。

尾畠さんと同じく、人を引きつける魅力があるのでしょうね。モテ期もうらやましい限りです。今後の活躍を期待しつつ、受賞記念の特製紙面をプレゼントします。

萱嶋さんの話　掲載後、サインを求められることが多くなり、さらにモテています。「顔が似ている」と言われたことをきっかけに始め、尾畠さんからは「みんなを笑顔にする活動ならば」と公認を得ました。その約束を果たすため、今後も積極的に活動をしていきたいです。

× × ×

びびんこは大分弁で肩車の意味です。火～日曜掲載の「びびんこ　地域発ミニ事件簿」では県民の心温まる話やクスッと笑える体験談、ほのぼのとした出来事を紹介。キラリと光ったネタを毎月1回、びびんこ賞に選んでいます。